



一中だより

学校教育目標 自主・練磨・敬愛

目指す学校像「笑顔と活力あふれる学校」～一人一人の「よさ」を見つけ、伸ばす～

「心を耕す」

校長 岡島 一恵

秋も大分深まり、学習に集中しやすい季節となりました。本校では、一日のスタートに読書の時間が設定されています。子どもたちにとって、読書に親しむことは、その後の成長に大きな影響を与えていると考えています。本との出会いは、単に新しい知識を得るだけでなく、小説や物語の登場人物に共感したり、内容に深く感動したり、心が揺さぶられたり、また、考え方を変えるきっかけやその表現方法に影響を受けるなど、読み手の内面に様々な変化をもたらすと思っているからです。

「読書が学力向上に繋がるか」という疑問は、常に議論されるテーマですが、読書により、想像したり、共感したり、また論理的に考えたりするなど、読み手の思考が深く働かされていること、また、多くの語彙に触れることは、学力の土台を築き、何より心を耕し、人生を豊かにすると思っています。

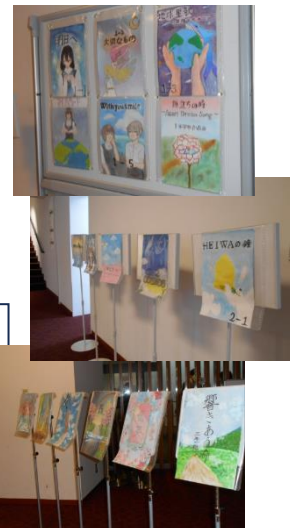
先日オンラインで開催された川越市の「ビブリオバトル」において、本校代表生徒（3年〇〇さん）が参加グループ校の準チャンプに選ばれました。ビブリオバトルは、お気に入りの本を紹介し合い、参加者の投票で「チャンプ本」を決める大会です。いかに、その本の魅力を自分の言葉で上手く聴き手に説明できるかが鍵となります。本の内容の理解の深さは勿論のこと、伝える力が問われます。多くの聴衆に選ばれたということは、〇〇さんの本への想いやその魅力を上手く伝えることができたということだと思います。また、今回は全校



で聴衆として参加することで、他の生徒たちは、他校の紹介本も含め、「どんな本なんだろう」「読んでみたい」など、紹介を「聴く」ことで、感想をもち、読んでみたい本に投票することができたことも良かったと思っています。学校司書の〇〇が、早速、紹介された本を生徒たちが図書館に借りに来てくれたとおっしゃっていました。読書は、子どもたちの心と頭を耕し、未来を豊かにする「種」をまく行為です。一冊の本との出会いが、生徒たちの新たな人生の扉を開くかもしれません。



去る10月21日火曜日、ウェスタ川越大ホールにて本校合唱祭を実施致しました。どのクラスも当日は勿論のこと、それまでの練習に懸命に取り組み、素晴らしい合唱をホールいっぱい響かせました。ホール入り口には主に美術部が作成した各クラスが歌う合唱曲のイメージ画が飾られ、会場に色を添えました。また、小中連携の取組の一つとして仙波小6年生を招待し学年合唱を披露していただきました。多くの保護者の皆様、来賓の皆様に御来場いただき、大変ありがとうございました。



- | | | |
|------|-----------------------|-----------------------|
| 3年生 | 1組「響きあう命」(市合唱祭に代表で参加) | |
| 金賞 | 5組「青い鳥」 | |
| 銀賞 | 4組「友～旅立ちの時」 | |
| 安久津賞 | | |
| 2年生 | 4組「いのちの歌」 | 1年生 |
| 金賞 | 1組「HEWAの鐘」 | 金賞 5組「With You Smile」 |
| 銀賞 | | 銀賞 3組「地球星歌 |
| | | ～笑顔のために～ |

合唱祭

